

特定非営利活動法人ビーンズふくしま 中鉢博之 さん



NPO法人ビーンズふくしま

1999年不登校の子どもたちのためのフリースクールとして活動開始。子どもたちのための「安心」できる居場所づくりを行うとともに、本人・家族の個別カウンセリング「こころの相談室」や若者の就労支援を行う「地域若者サポートステーション」などを開始。震災後は、避難者支援・心のケアに加えて、「ひきこもり支援センター」、「生活困窮の子どもたちの学習支援」、「地域子育て支援拠点」などの取り組みも始める。



中鉢さん年表

- 震災前 宮城県仙台市出身
福島大学在学時フリースクール設立の準備会に参加。
- 1999年 フリースクールビーンズふくしま創設
フリースクール・こころの相談室・若者サポートステーションなどの事業を展開。
- 2011年 東日本大震災発災
仮設住宅の子ども支援「うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト」開始
- 2012年 東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口業務開始 県内親子の心のケア、県外避難者の支援に着手
- 2015年 避難先から福島に戻った親子の交流拠点「みんなの家@ふくしま」開始



うつくしまふくしま子ども未来応援プロジェクト

仮設住宅で避難生活を送る子ども達に、放課後の学習支援や遊びのできる居場所を展開。福島市・二本松市・郡山市・三春町など、6地域の仮設住宅や復興公営住宅などで活動を実施。保護者や仮設の住民を巻き込んでもちつきなどのイベントを開催したり、子どもを中心にみんなが関われるコミュニティづくりを目指す。

ふくしま子ども支援センター（東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口）

震災後の福島県の子どもの中長期の心のケアを目的に設置。交流会・相談会などで県外避難親子の交流会、福島県内に戻ってきた避難親子のケアの場「ママカフェ」の展開、子ども支援者向け研修プログラムの実施、県内市町村に児童精神科医や臨床心理士などの心のケアの専門家を派遣するなど、広範にわたる事業を実施。



みんなの家@ふくしま

避難先から戻ってきた親子、福島で子育てをする親子、地域の住民等が共に交流できる常設の拠点。子育て世代と高齢者など異世代交流が相互の活力や伝統の継承、みんなで作る地域づくりなどにも波及。アウトリーチで、復興公営住宅に出向いての交流会なども開催。大人の部活、料理教室など文化活動や体験活動を通じた生きがいづくりにもつながっている。